

代表質問



スマイル  
小林 信保

そのまちに到達するためには必要なことは、市民誰もが市政に参画できるよう、対話、情報の開示、問題点の共有を重視し、市民と行政の信頼関係を構築することが必要だと考える。

再質問

**Q** 「住んでよかった」「住んでみよう」と思うまちは。その為に必要なことは。

**A** 医療と教育が充実したまちは。対話、情報開示、問題点共有を重視し、信頼関係を構築すること

**問** 「住んでよかった」「住んでみよう」と思えるまちは。

**答** 市長

第6次総合計画を基本とした医療と教育が充実したまちである。

**問** 「住んでよかった」と思う人は、そこに住み続けます。「住んでみよう」というまちであれば、人は移り住んできます。転入者を増やし、転出者を減らす事が大切で、社会増減を成果指標にするべきであると思うが。

**答** 総務部長

目標を達成するために成果の指標をというお話だと思っています。

あらゆる考え方を入る中で封鎖人口推計等々も考慮する中で、皆さんのご意見を聞きながら今後の総合計画等に反映していく。

**Q** 今回の大雪時の情報の受発信は

**A** 防災行政無線、大月防災安心メール、フェイスブック、ホームページで行った。防災行政無線については調査を行う

**問** 今回の大雪の時の情報の受発信について、どのように考えているか。

**答** 総務管理課長

情報収集は、民生委員に要援護者等の安否確認、市政協力委員長に孤立世帯の状況確認、民生委員及び介護ヘルパーに要援護者や高齢者宅の除雪要望調査などを実施した。電話やフックス、インターネットなどが使用できたので、情報収集はできたと考えてるが、国土交通省、山梨県、中日本高速道路などと情報共有が図られていない部分もあり、この教訓を生かすよう検討

したい。情報発信については、周知する必要があると判断した情報は、防災行政無線でお伝えし、あわせてその内容をおおつき防災安全メールやフェイスブック、ホームページで配信を行うとともに、テレビやラジオを利用して情報提供も行った。

今回は雪の影響からか防災行政無線が普段より聞こえづらいという情報もいただいているので改めて調査を行う。

今後は国土交通省や山梨県、中日本高速道路等の関係機関と連携を図り、新たな情報受発信ツールについても研究してまいりたい。

## 代表質問

日本共産党  
藤本 実

**Q** 大月市立中央病院新病棟建設の意義は

**A** 災害拠点病院の機能、救急医療体制が強化、常勤医師確保も前進

**問** 大月市立中央病院新病棟建設の意義、病院機能等はどのよう強化されるか。

**答** 大月市立中央病院新病棟建設の意義、病院機能等はどのよう強化されるか。

**答** 病院事務局長

新病棟の建築に当たって、市立中央病院が東部地域の災害拠点病院に指定されていることから、最低でも3

日程度病院機能を維持できる電気、給排水設備を整備した。  
また、災害による多数の患者発生時にボトルネックとなりやすい放射線撮影機器を救急搬送車入り口に近接させるなど、設計にも配慮した。  
重症度、傷病の種類、年齢によらず、救急患者を救

急外来で診療するER救急を、病院整備完了後、環境が整い次第できるところから開始していきたい。

本年6月以降東京女子医科大学から延べ14名の後期研修医が当院を臨床研修の場として（各1ヶ月）来院する予定となっている。

東京女子医科大学とは関連病院としての施設認定に加え、臨床研修の活発化による情報発信等により連携を深め、常勤医の確保につなげていきたい。

現在、平成26年7月以降の常勤医として眼科、透視担当医に加え、麻酔科医との交渉を継続している。



大月市立中央病院 新病棟

## 再質問

**Q** 大雪の対応から備蓄等の計画は

**A** 地域全体として医薬品の備蓄をしていきたい

**問** 東日本大震災から3年、この間も大規模災害時の対策強化に市を挙げ、取り組んできたが、医療面から見た災害への備えがとれたことは非常に重要だ。大雪の際の対応で食料や医薬品が足りなくなるのではと心配されたようだが、今後の備蓄等の計画はどうか。

してもらいたい、薬剤については大月市薬剤師会と連携を図り、地域全体として医薬品の備蓄をしていきたい、このように提供できるような仕組みを連携して検討したい。

**答** 病院事務局長

今回の雪害を踏まえ、今各部署からのレポートの取りまとめを行っている。食料を5日間程度の備蓄にし



鈴木 章司

**Q** 大月インター以西改良計画は

**A** 改良や再整備が必要不可欠であると考える

**問** 大月インター以西改良計画は。(初狩バイパス、笹子トンネル)

済に与える影響ははかり知れないものがあります。これらを踏まえて、特に

**答** 市長

大月インターチェンジより西側の一般国道20号につきましては、中央道笹子トンネル天井板崩落事故や今回の大雪に伴う中央道閉鎖時におきましては、県内経

初狩町地内の狭隘箇所における大型車両のすれ違い困難箇所や、建設後50年が経過しております送風抗等の老朽化が著しい新笹子トンネルは改良や再整備が必要不可欠であると考えております。



笹子トンネル

その他の質問

**問** JR大月駅バリアフリー化、富士急行大月駅舎改修の状況について

**問** リニア実験線について

**問** 学童クラブについて

具体的な病院サポートの施策として、1つ目、愛着では健診を初めとする受診の推進、病院のPR、ふると大月応援寄附金のお願など。  
2つ目、信頼では病院での健康教室を初めとする医療技術者による講演会の開催や保健事業の実施、コンビニ受診の自粛など。  
3つ目、感謝では医師を初めとする医療スタッフへのおもてなし、大月の魅力の発信、感謝の気持ち可言

**Q** 市民ができる自助と共助は

**A** 病院サポート施策は、愛着、信頼、感謝の3つの言葉がキーワード

**問** 中央病院支援のために市民のできる自助・共助は。

**答** 市民生活部長

葉で表すなど。これらの施策は、今後各組織の代表者を通じて広く市民に呼びかけて、中央病院をより身近な存在として感じていただけるよう取り組んでまいります。



大月市立中央病院

スマイル  
山田 政文

## Q 定住対策、空き家の活用、子育て支援、木材資源の活用等について提案する

## A 各提案については検討及び実施する

**問** 定住対策、空き家の活用、子育て支援、木材資源の活用等について提案する。

○定住していただける世帯への建築費補助や引越し費用についても検討します。

**答** 市長

○ゆりヶ丘団地の50区画の分譲地につきましては、適正価格により購入者を募集

○ゆりヶ丘団地の50区画の分譲地につきましては、適正価格により購入者を募集

を目指してまいります。

○耕作放棄地活用についてはニーズを把握し、情報提供を充実していきます。

○新年度から医療費助成の対象を中学3年生の通院まで拡大することとしました。

○またファミリーサポートセンター利用者への助成金など支援を進めております。

○バイオマス発電所の燃料につきましましては、県内の間伐材を最優先し、利用するよう申し入れております。

○桃太郎伝説や、小山田氏に関わる品々につきましましては、有効利用に向けた検討をしております。



ゆりヶ丘団地には50区画分譲地がある

## Q 人口減少の具体的な取り組みは

## A 通勤電車の増発要望や中央病院改築、教育環境整備などに取り組んでいる

**問** 人口減少の状況と具体的な取り組みは。

27,034人  
▲4,771人減(15%)

**答** 総務部長

人口減少対策としては、企業誘致による働く場の確保の取り組みや、通勤電車の増発要望をJR東日本に対して行っております。

さらに市立中央病院の病棟建設、小中学校の教育環境整備、医療費の中学3年生までの無料化など、さまざまな事業を進めてまいります。

◎人口減少の推移

平成16年4月

31,805人

平成26年3月

その他の質問

問 大月ウエルネス・ネットワーク事業について

問 大月第一中学校と東中学校の統合について

## 平成26年2月の大雪による雪害対策に関する意見書

本年、2月14日から15日にかけて降雪が続き、山梨県内において観測史上最大となる記録的大雪となりました。

この大雪により、大月市内では、国道、県道、中央自動車道をはじめとする道路という道路全て通行不能や鉄道の運転中止等で交通・ライフライン機能が途絶し、各所で孤立世帯や車、鉄道で立ち往生する孤立者が発生したため、市内各所に避難所を開設し数多くの避難者の受け入れをしました。

また、食料品や日用品、燃料などの不足や品切れが起こるとともに、建物の損壊、樹木の枝折れ、ビニールハウスの倒壊等による農業被害など、市民生活や地域経済に甚大な影響が発生しました。

これらに対処するため市では、大雪災害に関する災害対策本部を警報解除と同時に設置し、市議会においては、議員が地域の情報収集に努め対策本部に情報提供した所ありますが、雪害対策に予想をはるかに超える多額の費用を要することとなりました。

また、今後調査する中で、気温上昇による雪崩の起こる恐れのある地域の民家への被害や建物被害、特に屋根等の損壊や農業被害等数多く判明する事が予測され、更に復旧等に多額の費用を要することが想定されます。

ついては、国及び県においては、こうした深刻な状況をご認識頂き、下記の事項について特段の配慮をされるよう強く要望いたします。

### 記

- 1 安全な道路交通を確保するために、国道や県道の歩道を含めた降雪対策（排雪を含める。）を進めるとともに、降雪時には迅速な措置を講じること。
- 2 農業施設など農業被害に係る復旧経費に対する支援を行うこと。
- 3 市道や農道の除雪・排雪経費、除雪用機材や融雪剤等の購入経費、高齢者世帯や孤立世帯等の除雪経費に対する財政措置を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年2月28日

大 月 市 議 会

|                   |      |   |
|-------------------|------|---|
| 内閣総理大臣            | 安倍晋三 | 殿 |
| 財務大臣              | 麻生太郎 | 殿 |
| 総務大臣              | 新藤義孝 | 殿 |
| 農林水産大臣            | 林芳正  | 殿 |
| 国土交通大臣            | 太田昭宏 | 殿 |
| 内閣府特命担当大臣<br>(防災) | 古屋圭司 | 殿 |
| 山梨県知事             | 横内正明 | 殿 |









# 広域行政

(本市議会では各議会に対して、議員を選任し派遣しております。)

## 大月都留広域事務組合議会

2月27日、2月定例会が開会され、次の2件が可決されました。

### ● 予算(当初・補正)

◎議案第1号 平成26年度大月都留広域事務組合一般会計予算

◎議案第2号 平成25年度大月都留広域事務組合一般会計補正予算(第2号)

## 東部地域広域水道企業団議会

平成26年第1回定例会は、2月26日に開会され、3議案が可決されました。

### ● 条例

◎議案第1号 東部地域広域水道企業団給水条例中改正の件

消費税法の一部が改正されることにより、加入負担金及び料金に係る消費税を5%から8%に改正を行うもの。

### ● 予算(補正・当初)

◎議案第2号 平成25年度東部地域広域水道企業団水道事業会計補正予算(第2号)

◎議案第3号 平成26年度東部地域広域水道企業団水道事業会計予算

## 山梨県東部広域連合議会

3月4日、平成26年第1回2月定例会が開会され、次の案件が可決されました。

### ● 予算(補正・当初)

◎議案第1号 平成25年度山梨県東部広域連合一般会計補正予算(第1号)

◎議案第2号 平成26年度山梨県東部広域連合一般会計当初予算

## 山梨県後期高齢者医療広域連合議会

2月21日、平成26年第1回定例会が開会され、次の案件が可決されました。

### ● 条例

◎議案第1号 山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例及び山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金条例の一部を改正する条例の制定について

### ● 予算(補正・当初)

◎議案第2号 平成25年度山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

◎議案第3号 平成26年度山梨県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

◎議案第4号 平成26年度山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

# 認知症サポーター養成講座を 議員全員で受講



4月15日に大月市地域包括支援センターの職員による「認知症サポーター養成講座」を議員全員（15名）で受講しました。

この養成講座は、認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を1人でも増やし、暮らしやすい地域をつくることを目的に開催されています。



認知症サポーターの証  
オレンジリング



関東市議会議長会  
副会長に  
小泉議長就任



4月22日に東京ベイ幕張（千葉県）において、第80回関東市議会議長会定期総会が開催され、本市の小泉二三雄議長が役員改選により、副会長に就任致しました。

# 議会日誌

## 3月

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 4日  | 平成26年第1回山梨県東部広域連合議会2月定例会 |
| 5日  | 総務産業常任委員会                |
| 6日  | 社会文教常任委員会                |
| 10日 | 一般質問                     |
| 12日 | 予算審査特別委員会                |
| 13日 | 予算審査特別委員会                |
| 14日 | 予算審査特別委員会                |
| 17日 | 総務産業常任委員会                |
| 18日 | 社会文教常任委員会                |
| 20日 | 議会運営委員会<br>全員協議会         |
|     | 平成26年第1回市議会定例会閉会         |

## 4月

|     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| 9日  | 関東市議会議長会監事会                        |
| 11日 | 会派代表者会議                            |
| 15日 | 認知症サポーター養成講座<br>議員定例懇談会            |
| 16日 | 山梨県市議会議長会第251回定期総会                 |
| 22日 | 関東市議会議長会第2回理事会・第80回定期総会・<br>新支部長会議 |
| 25日 | 平成26年度市町村長及び市町村議会議長会議              |

## 5月

|     |   |
|-----|---|
| 1日  | 市議会だより編集委員会                                 |
| 2日  | 会派代表者会議                                     |
| 8日  | 全国自治体病院経営都市議会協議会 第42回定期総会<br>山形県村山市議会行政視察来庁 |
| 12日 | 関東市議会議長会新旧正副会長会議                            |
| 14日 | 全員協議会                                       |
| 20日 | 議員定例懇談会                                     |

## あなたも本会議を傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。  
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

## 6月定例会の日程(予定)

6月 2日 (開 会)

6月 12日 (一般質問)

6月 19日 (閉 会)

※定例会前の議会運営委員会で正式に決定されますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 編集後記

大月市立中央病院の新病棟が完成し、3月末から診療がスタートした。新病棟は医師確保など経営健全化をすすめる切り札であり、再生へのチャンス。市議会でも盛り立てようと議論してきた。表紙の写真は、市議会の思いが込められている。

認知症サポーター養成講座を議員全員で受講した。認知症高齢者と家族に寄り添う議会でありたい。

Editorial note

編集・発行

市議会だより編集委員会 (大月市議会事務局内)  
大月市議会事務局  
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号  
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321  
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会だより  
編集委員会

|      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 小林 | 信保 |
| 副委員長 | 藤本 | 実  |
| 委員   | 古見 | 金弥 |
| 委員   | 西室 | 衛  |
| 委員   | 卯月 | 政人 |
| 委員   | 鈴木 | 章司 |